

平成31年度 年間授業計画 都立蒲田高等学校

教科・科目	コミュニケーション英語基礎 必修	3単位	対象学年・組	1学年 全クラス
教科書	JOYFUL Englishコミュニケーション英語基礎三友出版株式会社	教科担任	篠塚 祐紀・深町 良沙 前島 理香・水上 裕子	

1. 目標 中学校における生徒の学習の実態を踏まえ、英語学習の基礎基本を反復学習によって定着させる。中学校レベルの英語力 (STEP 英語検定試験3級レベル) を目指す。

2. 学習の到達目標

1. 基本的な英文の構造を理解する。読解及びリスニングにおいては、主語、述語動詞、目的語等の主要な文要素を自分で識別し、節や句等のまとまりをある程度認識できるようにする。  
英文の形成においては、単語を正しい語順に並べられるようにする。
2. 教科書に出てくる基本的な英単語、英文を正しい発音、抑揚で読めるようにする。
3. 不規則変化動詞の変化形を含む英単語や中学校 (STEP 英語検定試験3級) レベルの語彙を習得する。

3. 学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	配当時間の目安	学習内容	学習上の留意点
1 学期	前半	・ Warm Up ・ Lesson 1 We choose	18	・ 英語の学習方法について ・ 主語と動詞 ※確認テスト	・ 英文の骨格である主語と述語動詞を見つけ出し、大体の意味を把握するよう努める。 ・ 一般動詞の現在形と疑問文・否定文を習得する。
	後半	・ Lesson 2 World Foods 3人称単数 ・ Lesson 3 Sunshin Day	18	・ 一般動詞の文 (疑問文・否定文含む) ・ be動詞の文 ※ 確認テスト	・ 一般動詞の文の構造を理解し習得する。 ・ 主語が3人称単数の場合の、一般動詞の文の形を、疑問文や否定文を含めて習得する。 ・ be動詞を使った文を習得する。
2 学期	前半	・ Lesson 4 Our Life 助動詞・進行形	21	・ be動詞 ※ 確認テスト	・ 助動詞will, can, may, mustを使った文を習得する。 ・ 現在進行形の文を習得する。
	後半	・ Lesson 5 Super Cool Biz Project 動詞の過去形	21	・ be動詞過去形 ・ 一般動詞過去形 ※ 確認テスト	・ be動詞及び一般動詞の過去形を習得し、肯定文・疑問文・否定文をそれぞれ英語で表現できるようにする。
3 学期		・ Lesson 6 The Power of Bonds 不定詞	27	・ 不定詞 ・ It・・・toの文 ※ 確認テスト	・ 不定詞の3用法の名詞的・形容詞的・副詞的用法を理解し、それらをできるだけ英語で表現できるようにする。 ・ It～to・・・の構文を理解し、それをういた英語表現に慣れ親しむ。

4. 学習方法と生徒への注意

授業は、英単語・熟語や英文の音読の練習、英文の意味の解釈、語法・文法の説明と演習、簡単な英問英答、知識理解の定着を確認するテスト等から構成されている。この科目では音読、読解等の練習や課題に真面目に取り組む姿勢、積極的に英語を理解し、英語で表現しようとする態度、基本的な単語や例文を計画的に暗記する努力が大切である。具体的には次の点を指導する。

- ・ 英語の文の構造等について学んだ知識を活用して主語や述語動詞等の主要な文要素を常に把握するよう努め、英文の意味を少しでも自分で理解するよう心がける。
- ・ 発音練習、音読練習の時にはしっかり声を出して少しでも英語を母語とする人の発音、抑揚に近づけるよう努力する。
- ・ 教科書中の重要表現の英文や新出の語句はその都度暗記する。
- ・ 単語テストや音読等のテストには事前にしっかり準備をして臨む。
- ・ 英語が得意になるためには毎日の家庭学習が不可欠。家で授業内容を復習して定着させたり、単語や例文を暗記したりすることを習慣化する。

5. 評価の観点・方法

知識の量や理解度だけでなく、取り組み意欲・態度 (積極性・根気強さ)、音読や聞き取りの技能等多角的な観点から評価する。評価の材料は、年8回の確認テストの結果 (=テスト点) と、単語テスト・学年共通課題・平常の授業 (家庭学習としての宿題等を含む) における取り組みの状況 (=平常点) である。平常点とテスト点の割合が同じなので普段の努力が大切である。

平常点は、年間19回の単語テスト、その他小テスト、提出物 (ノート、長期休業期間中の学年共通課題、プリント等)、出席状況や授業中の取り組み態度等を基に評価する。テスト中の不正行為や授業規律違反 (携帯電話の使用等) は大きなマイナスになる。

6. カリキュラムマップ

多文化・異文化	数学的技能	思考力・判断力	課題発見力・解決力	生涯学習力	表現力	技能技術力	読解力	鑑賞する力	資料活用する技能
○		○	○		○		○		

教科・科目	コミュニケーション英語 I	3 単位	対象学年・組	2 学年 1～6 組
教科書	VISTA English Communication I (三省堂)	教科担任	荒川基幸・篠塚祐紀・西田幸弘・野村俊一・水上裕子	

1 目 標

高校1年次における生徒の学習の実態を踏まえ、英語学習の基礎基本を反復学習によって定着させる。  
1 年次に学習した基本的な英語力の定着を目指す。

2 学習の到達目標

- ・ 基本的な英文の構造を理解する。読解及びリスニングにおいては、主語、述語動詞、目的語等の主要な文要素を自分で識別し、節や句等のまとまりをある程度認識できるようにする。
- ・ 教科書に出てくる基本的な英単語、英文を正しい発音、抑揚で読めるようにする。
- ・ 不規則変化動詞の変化形を含む英単語や中学校 (STEP英語検定試験3級) レベルの語彙を習得する。

3 学習内容と学習上の留意点

	単 元	配当 時間	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
一 学 期	Lesson 1 Kerama Blue be動詞・一般動詞 Lesson 2 Cool Japan 疑問文・現在進行形 Lesson 3 Mexican Dishes 過去形・助動詞	36	・ 現在形 ・ 疑問文 ・ be + ~ing 進行形の形 ・ 過去形 ・ 助動詞	・ be動詞及び一般動詞の現在形の文を習得する。 ・ 現在進行形と現在形の違いを理解し、英語で表現できるようにする。 ・ be動詞及び一般動詞の過去形の文を習得する。 ・ 助動詞 will, can, may, must, shouldの意味と特徴を習得する。
二 学 期	Lesson 4 The Olympics 接続詞that 4 文型・5 文型	42	・ be動詞と一般動詞の過去形と疑問文 ・ SVOO とSVOC	・ 4 文型と 5 文型の文の意味を理解する。
三 学 期	Lesson 8 Motala and Landmines	27	・ 受け身	・ 受け身の文の形を理解する。

4 学習方法と生徒への注意

授業は、英単語・熟語や英文のリスニングと音読の練習、英文の意味の解釈、語法・文法の説明と演習、簡単な英問英答、知識理解の定着を確認するテスト等から構成される。この科目ではリスニング、音読、読解等の練習や課題に真面目に取り組む姿勢、積極的に英語を理解し、英語で表現しようとする態度、基本的な単語熟語や例文を計画的に暗記する姿勢を育成する。

5 評価の観点・方法

知識の量や理解度だけでなく、取り組む意欲・態度 (積極性・根気強さ)、音読や聞き取りの技能等多角的な観点から評価します。評価の材料となるのは、年8回の確認テストの結果 (=テスト点) と、単語テスト・学年共通課題・平常の授業における取り組みの状況 (=平常点) です。平常点とテスト点の割合が同じなので普段の努力が大切であると考えて下さい。

6 カリキュラムマップ

多文化・異文化	数学的 技能	思考力・判 断力	課題発 見力・解 決力	生涯学 習力	表 現 力	技 能 技 術 力	読 解 力	鑑 賞 する 力	資 料 活 用 する技能
○		○	○		○		○		

教科・科目	コミュニケーション英語Ⅱ (必修)	単位	対象学年・組	3学年1～6組
教科書	VISTA English Communication II (三省堂)	教科担任	荒川・前島・西田・野村	

1 目 標

- ・高校3年次における生徒の学習の実態を踏まえ、英語学習の基礎基本を反復学習によって定着させる。
- ・1年次と2年次に学習した基本的な英語力（英語検定3級レベル）の定着を目指す。

2 学習の到達目標

- ・確認テストで60%以上の正答率を目指す。
- ・授業で行われるパフォーマンステストで80%以上の合格率を目指す。

3 学習内容と学習上の留意点

	単 元	配当 時間	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
一 学 期	VISTA II Lesson 2 The Emerald Isle  VISTA II Lesson 3 Sagrada Familia	48	・比較表現の基本となる同格・比較級・最上級の基本的な使い方を学習する。 ・英語の特色である後置修飾のうち現在分詞と過去分詞を用いた表現の使い方を学ぶ。	・4技能を総合的にトレーニングできるように多様なメニューを用意する。 ・暗唱(習得)から活用(習熟)へと発展できる活動を行う。 ・生徒が能動的に学習を行えるように工夫する。
二 学 期	VISTA II Lesson 4 Nobel Prize Episodes  VISTA II Lesson 5 Flowers in the Tomb  VISTA II Lesson 7 The Galapagos Islands	60	・関係代名詞のwhatの使い方を学ぶと同時に、関係代名詞の基本的な使い方を復習する。 ・使役動詞make・let・haveの使い方を学び、目的語や補語の役割についても復習する。 ・現在完了進行形の使い方を学び、他の現在完了形の使い方を復習する。	・4技能を総合的にトレーニングできるように多様なメニューを用意する。 ・暗唱(習得)から活用(習熟)へと発展できる活動を行う。 ・生徒が能動的に学習を行えるように工夫する。
三 学 期	VISTA II Lesson 7 Galapagos Islands	4	・関係代名詞、使役動詞、現在完了形の使い方の復習	・生徒が能動的に学習を行えるように工夫する。

4 学習方法と生徒への注意

授業では、教科書の音読・暗唱だけでなく、様々な英語表現に触れながら、話す、聞く、読む、書くといった4つのスキルを総合的に学習する。また英語は「実技教科」ですので、授業に参加しなければ意味がありません。ただノートを写したり、授業を聞いているだけでなく、生徒同士と一緒に学びあっていく姿勢を持つようにしてください。

5 評価の観点・方法

英語の授業は、(1)確認テストの点数 (2)授業中のパフォーマンステスト(小テスト)の点数 (3)授業参加(授業の出席状況や提出物など) (4)長期休業の課題の提出状況、以上4点で評価する。確認テストの点数だけでなく、半分は、授業中の取組状況で評価する。授業への取り組み状況や意欲なども、確認テストの点数と同等の扱いにする。

6 カリキュラムマップ

多文化・異文化	数学的 技能	思考力・判 断力	課題発見 力・解決力	生涯学習 力	表現力	技能技術 力	読解力	鑑賞する 力	資料活用 する技能
○		○	○		○		○		

教科・科目	必修選択 英語表現 I	単位	対象学年・組	3学年
教科書	VIVID (第一学習社)	教科担任	前島・水上	

1 目 標

- ・英語を通じて、コミュニケーションを積極的に取ろうとする態度を育てる。
- ・意見などを様々な観点から考え、論理の展開や表現の方法を工夫して伝える力を養う。

2 学習の到達目標

- ・基本的な英文の構造や表現を理解する。
- ・教科書等に出てくる英文をリズムやイントネーション等に注意しながら読むことができる。そして、自ら話すことができる。
- ・発表の仕方、表現の方法を知り、使うことができる。

3 学習内容と学習上の留意点

	単 元	配当 時間	学 習 内 容	学 習 上 の 留 意 点
一 学 期	Lesson 1～Lesson 5	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ be動詞、一般動詞</li> <li>・ 疑問文、命令文</li> <li>・ SV,SVC,SVO,SVOO,SVOC</li> <li>・ There is/There are～などを使った文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平易な表現を用いて自己紹介ができるようにする。</li> <li>・英文の基本的な構造を理解し、使えるようにする。</li> <li>・様々な言語活動を体験し、表現を学ぶようにする。</li> </ul>
二 学 期	Lesson 6～Lesson 10	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在形・過去形・進行形</li> <li>・ 未来形</li> <li>・ 現在完了形</li> <li>・ 助動詞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の決まりを理解するようになる。</li> <li>・スピーチを通じて自己表現ができるようになる。</li> </ul>
三 学 期	まとめ	2	これまでの学習内容に照らしてレポートを書き、発表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文の決まりを理解するようになる。</li> <li>・自らの言葉(英語)で表現する。</li> </ul>

4 学習方法と生徒への注意

- ・リズムやイントネーション等に注意しながら読んだり話したりすること。
- ・発表のしかた、発表のために必要な表現などを学習し、活用できるようにすること。

5 評価の観点・方法

普段の学習態度、提出物、確認テスト、レシテーションテスト、インタビューテスト、スピーチテストで評価する。

6 カリキュラムマップ

多文化・異文化	数学的 技能	思考力・判 断力	課題発見 力・解決力	生涯学習 力	表 現 力	技能技術 力	読 解 力	鑑賞する 力	資料活用 する技能
○			○		○		○		

教科・科目	英語会話 自由選択	2単位	対象学年・組	3学年 自由選択
教科書	My Passport English Conversation 文英堂	教科担任	荒川基幸	

1. 目標 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力を養う。
2. 学習の到達目標
  1. 相手の話を聞いて理解するとともに、場面や目的に応じて適切に応答する。
  2. 関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりする。
  3. 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考え等を、場面や目的に応じて適切に伝える。
  4. 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。

3. 学習内容と学習上の留意点

学期	月	単元	配当時間	学習内容	学習上の留意点
1 学期	前半	Lesson 1 Making Conversation Lesson 2 At the Hotel	8	・自己紹介と他己紹介 ・相手の職業の尋ね方 ・ホテルでの要求や質問の仕方 ※単語、スピーチ、単元末テスト	・ "Let me introduce you to ~" ・ "What do you do?" ・ "Would you please ~?" 以上の表現を的確に使用できること
	後半	Lesson 3 Going Sightseeing Lesson 4 Small Business	8	・観光地での道や所要時間の尋ね方 ・郵便局での会話 ・銀行での会話 ※単語、スピーチ、単元末テスト	・ "Could you tell me how to get to ~?" ・ "I'd like to ~" ・ "Would you please ~?" 以上の表現を的確に使用できること
2 学期	前半	Lesson 5 Eating Out Lesson 6 Going Shopping	10	・外食先での注文の仕方 ・金額の尋ね方 ・服の色やサイズ、試着の可否 ※単語、スピーチ、単元末テスト	・ "I'll have ~" ・ "How much is ~?" ・ "Do you have ~? May I try ~ on?" 以上の表現を的確に使用できること
	後半	Lesson 7 Public Transportation Lesson 8 Getting Help	12	・目的地がどこにあるかと、そこに辿り着くまでの交通手段の尋ね方 ・病院での医師と患者の対話 ※単語、スピーチ、単元末テスト	・ "Could you tell me where ~ is?" ・ "You should ~" ・ "What's the matter?" 以上の表現を的確に使用できること
3 学期		1年間の総括	2	・1年間の復習 ※単語、スピーチ、総括テスト	1年間で習った表現を的確に使用できること

4. 学習方法と生徒への注意

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リズムやイントネーション等の英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさ等に注意しながら、聞いたり話したりすること。</li> <li>2. 繰り返しをしたり、言い換えをする時等に必要となる表現を活用すること。</li> <li>3. ジェスチャー等の非言語的なコミュニケーション手段の役割を理解し、場面や目的に応じて、適切に用いること。</li> <li>4. 自分または相手の伝えようとする内容をよく理解した上で、発話すること。</li> </ol>
---

5. 評価の観点・方法

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 英語会話演習、スピーチ、ペアワーク、グループワーク等、授業中の学習活動への取り組み方。</li> <li>2. プリントや課題等の提出状況。</li> <li>3. 積極的に発話し、JTE、ALTやクラスメイトとコミュニケーションを図ろうと努力しているか。</li> <li>4. 出席状況。</li> </ol>
---

6. カリキュラムマップ

多文化・異文化	数学的技術	思考力・判断力	課題発見力・解決力	生涯学習力	表現力	技能技術力	読解力	鑑賞する力	資料活用する技能
○					○			○	